

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	建築計画Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0057		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建設システム工学科		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	プリント配布				
担当教員	宮元 健次				
到達目標					
①低層集合住宅の計画がわかる。 ②中層集合住宅の計画がわかる。 ③高層集合住宅の計画がわかる。 ④オフィスと商業施設の計画がわかる。 ⑤複合施設の計画がわかる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	低層集合住宅の計画について説明できる	低層集合住宅の計画が理解できる	低層集合住宅の計画が理解できない		
評価項目2	中層集合住宅の計画について説明できる	中層集合住宅の計画が理解できる	中層集合住宅の計画が理解できない		
評価項目3	高層集合住宅の計画について説明できる	高層集合住宅の計画が理解できる	高層集合住宅の計画が理解できない		
評価項目4	オフィスと商業施設の計画について説明できる	オフィスと商業施設の計画が理解できる	オフィスと商業施設の計画が理解できない		
評価項目5	複合施設の計画について説明できる	複合施設の計画が理解できる	複合施設の計画が理解できない		
学科の到達目標項目との関係					
(B)					
教育方法等					
概要	前半は集合住宅の配置計画, 共用部分の計画, 専用部分の平面計画について解説し, 後半はさまざまな機能別施設の計画とそれらの複合計画について解説する。 1.Skills for design of house space. 2.Skills for presentation and planning.				
授業の進め方・方法	テキストを中心に, パワーポイント, ビデオなどを用いて視覚的に解説する。 また, 毎回ミニテストを行う。				
注意点	中間試験及び期末試験の平均点で評価する。 低, 中高層それぞれの集合住宅の「特徴と配置計画」, 「共用部分の計画」, 「専用部分の計画」, 「インテリア計画」及びオフィスについての「複合計画」, 「S O H O」, 「集合住宅と商業施設」, 「店舗」, 「展示施設」など, 上記の到達目標における各項目の基本を理解していることを評価基準とする。 ・研究室 A棟2階 (A-218) ・内線電話 8982 ・e-mail: miyamotoアットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること) 【学生へのメッセージ】 身近な集合住宅をよく観察しよう。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバスの説明	①低層集合住宅の計画がわかる	
		2週	集合住宅とは (一戸建住宅との比較によるメリットとデメリット)	①低層集合住宅の計画がわかる	
		3週	低層集合住宅 特徴と配置計画, 共用部分の計画, 専用部分の計画	①低層集合住宅の計画がわかる	
		4週	中層集合住宅 特徴と配置計画, 共用部分の計画, 専用部分の計画	②中層集合住宅の計画がわかる	
		5週	高層集合住宅 特徴と配置計画, 共用部分の計画, 専用部分の計画	③高層集合住宅の計画がわかる	
		6週	集合住宅の構造と設備の計画	③高層集合住宅の計画がわかる	
		7週	集合住宅のインテリア計画	③高層集合住宅の計画がわかる	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	オフィスの計画	④オフィスと商業施設の計画がわかる	
		10週	複合計画とは (共用部分と専用部分)	④オフィスと商業施設の計画がわかる	
		11週	S O H Oの計画	④オフィスと商業施設の計画がわかる	
		12週	集合住宅と商業施設の複合計画	⑤複合施設の計画がわかる	
		13週	商業施設の計画① 物販店舗, 飲食店舗	⑤複合施設の計画がわかる	
		14週	商業施設の計画② 展示施設, 多目的ホール	⑤複合施設の計画がわかる	
		15週	物販・飲食店舗と他の商業施設との複合計画	⑤複合施設の計画がわかる	
		16週	期末試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	構造	木構造の特徴・構造形式について説明できる。	1
				S造の特徴・構造形式について説明できる。	1

			鉄筋コンクリート造(ラーメン構造、壁式構造、プレストレストコンクリート構造など)の特徴・構造形式について説明できる。	1		
		環境・設備	風土と建築について説明できる。	1		
			環境共生建築について理解している。	1		
			表色系について説明できる。	1		
			色彩計画の概念を知っている。	1		
			省エネルギー(コジェネレーション等を含む)について説明できる。	1		
			維持管理について理解している。	1		
		計画・歴史	モジュールについて説明できる。	1		
			建築設計に関わる基本的な家具をはじめとする住設備機器などの寸法を知っている。	1		
			居住系施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。	1		
			医療・業務系の施設(例えば、オフィスビル、病院、オーディトリウム、宿泊施設等)あるいは類似施設の計画について説明できる。	1		
			建築計画・設計の手法一般について説明できる。	1		
			計画の立案ができる。	1		
			企画の手法について理解できる。	1		
			動線について説明できる。	1		
			ゾーニングについて説明できる。	1		
			地域資源(たとえば、指定・登録文化財、伝建制度・地区、観光資源、特産物など)について説明できる。	1		
		地域資源の保存・再生(たとえば、リノベーション、コンバージョンなど)手法について理解している。	1			
		美術・デザイン	建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	1		
			建築における形態(ものの形)について説明できる。	1		
			デザインプレゼンテーションができる。	1		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0